



令和8年度 第26号

今日の授業風景（小学部6年生）

今回は、「小学部6年生の会話授業」（8月21日（金）の2時間目）を紹介します



<英会話①> 「Time markers」をテーマに、曜日や季節など「時間」に関する表現を学んでいました。その中で「on」や「in」といった「前置詞の使い分け」を学習していました。途中からはゲーム形式の活動に移り、2つのチームに分かれることになりました。児童からの強い希望もあり、チーム名はそれぞれ「JSB チーム」と「カービーチーム」に決定。取材で私がカメラを向けると、思わず「ピース」をする児童に対し、級友が「ダメだよ」と注意する場面がありました。しかし、そんな時も

先生がすかさず「Speak English, please.」と促し、教室は常に「英語づけ」の空間になっていました。

<フランス語会話①> テキストを中心に授業が進められていました。私自身の仏語力が至らないため、先生と児童の間のやり取りをすべて正確にお伝えすることはできませんが、ジャガイモの図を示しながら「pomme de terre（ポム・ドウ・テール）」と発音したり、「『分かった』は何て言いますか?」という質問に児童が「d'accord（ダコール）」と答えたりと、活発なやり取りが行われていました。



<フランス語会話②> こちらのフランス語授業も、テキストを中心に学習が進められていましたが、途中からゲーム性を取り入れた「フランス語かるた」が始まりました。床のマットに広げられた何枚もの絵を見ながら、先生が発音したフランス語の絵札を取り合うゲームです。フランス語に馴染みの薄い私にはさっぱり分からない単語ばかりでしたが、さすがは6年生。みんながしっかりと発音を聞き取り、意味を理解して勢いよく絵札を取り合っていました。

上手にとれた児童には、先生から「Bien（ビアン!）」と称賛の声がかけられていました。

<英会話②> こちらのクラスでは、テキストにあるイソップ童話「The Ant and the Grasshopper（アリとキリギリス）」を読み進め、質問に答える形式で理解を深めていました。物語の文章はなかなかの長文で、よく見ると難易度の高い単語も含まれています。私自身、中学1年生になって初めて「This is a pen.」から英語を始めた世代ですので、小学6年生で既にこれほどの長文を読みこなせる子どもたちには、ただただ感心するばかりです。



<英会話③> この教室では、テキストにある会話文（飛行機やパイロットの絵が見えていたので、どうやら空港内でのやり取りに関わる内容のようです）の配役を決めて、役割分担をしながら音読をしていました。配役を決める際、先生が「Eeny, meeny, miny, moe, Catch a tiger by the toe...」と口ずさみながら選んでいきました。単に言葉を学ぶだけでなく、英語圏の背景にある「文化」や「遊び」にも触れられる工夫された授業でした。



<英会話④>

このクラスでは、クイズ形式で「物の名前」とそれを修飾する「形容詞」について学習していました。モニターに用意された約15問のクイズから児童が番号を選び、映し出された絵を見て答えます。例えば、高額な値札がついた指輪の絵を見て「expensive ring」と答えたり、先生の「What is this?」という問いかけに「comfortable bed」と即答したりと、素晴らしい英語力を発揮していました。



運動会に向けて、猛練習中！

前号に引き続き、運動会に向けて進められている演技練習についてお知らせします。

【小学部1・2年生】小学部1・2年生の集団演技は、おなじみの「ひょっこりひょうたん島」の曲に合わせて行われます。「♪波をチャップチャップかきわけて～」という軽快なリズムに合わせて、子どもたちが一生懸命に踊る姿は、愛らしく微笑ましいだけでなく、どこか胸を打つものがあります。写真や動画でもその魅力は伝わりますが、やはり本番で直接ご覧いただく感動はひとしおです。保護者の皆様には、運動会当日までどうぞ楽しみにお待ちください。子どもたちの輝く姿が、きっと期待以上の感動を届けてくれるはずです。



【ミニ雑学】ところで、この「ひょっこりひょうたん島」のモデルと言われているのが、岩手県大槌町の大槌湾にある「蓬莱島（ほうらいじま）」や、広島県と愛媛県の県境に位置する「瓢箪島（ひょうたんじま）」なのだそうです。

「インターネット利用講座」の質問

7月の授業公開では、保護者の方々と「インターネット利用講座」を受けましたが、その際に本校から出た質問に丁寧な回答をいただきました。紙面の関係で全部は紹介できませんが、その一部を紹介します。

<Q1 (小学部)> まだやりたい誘惑に負けそう。どうすれば？

<A1> ゲームを「ここまでで終わるぞ」と思っている、なかなかやめる気が起こらないことがあります。

そんな時は、**やめやすいように先に準備をしておく**のがコツです！

- ・終わる時間の10分前にアラームを鳴らす。（←終わるための心の準備ができますよ！）
- ・「次の動画は見ない!」とか、「この一戦が終わったら最後!」と先に決める。
- ・終わったら、スマホやゲーム機を自分から少し離れた場所に置く。
- ・それでも難しい時は、おうちの人にも協力してもらう。

などなど**「守ろう」ということ+守りやすい仕組みをつくること。**

<Q2 (中学部)> 長い間スマホを使ってしまう時に、連絡の返信をしなくてはと思ってしまうのですが、そういう時、既読スルーなどをしたくないですが、どうしたらいいですか？

<A2> **会話をいったん終わらせる一言を送る**のはどうでしょう。たとえば、「ごめん、スマホ**やめる時間**になっちゃった。また明日ね!」「ごめん、**勉強してくる**!またあとで」などなど。区切りのひとこと。もし、寝てしまって返信できなかったとしても、翌日に、寝ちゃって返せなかったと伝えれば、相手も「無視された」とは思わない。大事なものは、自分にムリをさせることでも、スルーすることでもなく、**ちゃんと区切りをつけること。**